

事業所向け 放課後等ディサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			1名あたり2.47㎡の基準に対して、指導訓練室として74.09㎡を確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の職員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		スロープの設置、段差を作らない配慮をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間で意見を出し合って、改善に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今回のようなアンケートを年1回以上行い、改善に努めます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在行っておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			資格取得の研修にも積極的に参加するようにしています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	○			保護者の方から、今後の進路や要望についてお話をうかがい、計画に反映出来るよう努めています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			5領域に対応したシステムを導入しアセスメントを取っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で案を出し、担当を決め立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			5領域を意識しプロジェクターやタブレットを活用したプログラムをはじめ、季節の行事、お出かけなどを実施しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			タイムスケジュールを組み、それぞれにめあてを持って、活動内容を設定するようにしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成しているか	○			集団活動においても、一人一人の目標に沿ってその子なりの参加の仕方を認められるように計画を立てています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			シフトにより参加できない職員は、記録を見て確認するようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日又は次の日に支援の内容や子どもたちの様子を共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス記録をもとに、検証、改善しています。

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々の支援の記録を反映しモニタリングを行い、見直しについて判断します。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			一人一人の特性を考慮し、分かりやすく、楽しく参加できるよう、活動を組みあわせていきます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者様を介してのやり取りを基本とさせていただいておりますが、臨機黄変の対応が必要な連絡調整につきましてはこの限りではありません。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在受け入れはありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者様同意のもと共有できるようになると、より理解が深まると思います。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ、その事例がありませんが、今後対応していきたいと思います。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		機会があれば研修に参加するようにしています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		児童館や公園に出かけやすくなったことで、地域との交流を図る機会を持てるようになってきました。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後参加の予定があります。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳でのやり取りや送迎時や電話で様子をお伝えするなどして、共通理解をはかっております。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		相談等随時受けていますが、ペアレントトレーニング等の研修を継続して受け資質向上を図れるようになりたいと思っています。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			今回おの保護者様アンケートで「どちらともいえない」と回答された方もありましたので、あらためてご説明をしたいと思います。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			平日の午前中などの時間を利用し、お話を伺うことが出来ます。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、ご要望により考えていきたいと思っています。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			その都度対応させていただいております。また、必要とあれば虐待防止委員会にての対応をいたします。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		noteを使って、活動の様子をホームページで発信しています。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			書類等を鍵付きロッカーにて保管しています。職員には守秘義務について、周知徹底しています。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚支援など、一人一人に分かりやすい方法を考慮しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		避難訓練の際の声掛けや外出の際の挨拶など、普段の活動の中で地域の方と関わる機会を大切にしています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			今後、保護者の方でご存知の無い方にお伝えしていきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害別の訓練をしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			市や県の研修に参加したり、内部研修を実施しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束適正化の指針に明記しております。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			指示書のコピーをいただくとともに、保護者様に確認を取り、間違いの無いよう、除去を表示した個別のプレートを付けて食事を提供しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの記録を供覧し、再発防止に努めています。